

2025年 東京YWCA韓国スタディツアー-

# 「平和と女性の人権」を学ぶ 報告書冊子



# ・目的

西大門刑務所、ナヌムの家、戦争と女性の人権博物館で過去と女性の人権を学び、韓国の平和市民共同体・社団法人PEACE MOMOにて現代の平和教育などについて学ぶ





# 日程表

## Day 1

**11:35 AM - 2:35 PM**

成田国際空港からソウルへ

**4:30 PM - 5:30 PM**

西大門刑務所（参加者全員がこちらで合流）

## Day 2

**10:00 AM - 12:00 PM**

ナムムの家を見学

**2:00 PM - 5:30 PM**

戦争と女性の人権博物館見学/ 正義連（博物館運営団体）の方からのレクチャーと質疑応答

## Day 3

**10:00 PM - 11:30 PM**

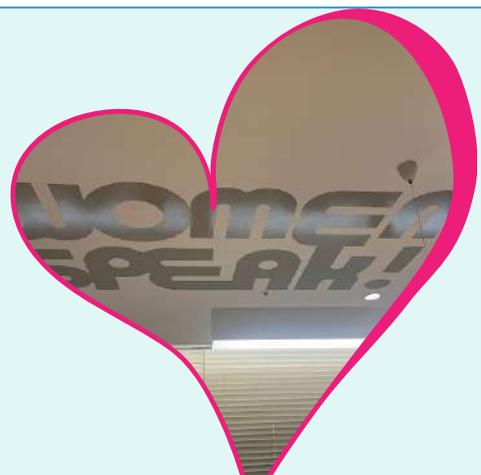
韓国YWCAとの交流会

**1:00 PM - 3:30 PM**

PEACE MOMOでのワークショップ

**6:40 PM - 8:50 PM**

日本へ帰国



# 報告会PPT 目次



**05** 西大門刑務所

---

**18** ナヌムの家

---

**45** 戦争と女性の人権博物館

---

**55** 韓国YWCA

---

**67** PEACEMOMO

---



## 西大門刑務所 서대문형무소



- 朝鮮王朝末期の1908年に、日本政府が植民地支配のために朝鮮の人々を監禁し、弾圧する施設として、朝鮮半島初の近代的な監獄である
- 「京城（キョンソン）監獄」が建設された日本植民地時代に建設された監獄の中で最も大規模
- 1945年の光復後、韓国政府に運営権を移管
- 韓国における民主化運動に関わった人々も収監されていた
- 1987年にソウルオリンピックの開催に伴い刑務所が京畿道に移転されるまで使用された
- 1995年から西大門区が西大門独立公園史跡地に 対する聖域化事業を開始
- 1998年11月5日、西大門刑務所歴史館を開館 建物は当時のまま残されている

## 西大門刑務所歴史館① 朝鮮半島の植民地化と京城監獄の建設



- 西大門刑務所がある場所は朝鮮時代後期において北側の地域に行くための重要な交通の場であった
- 1908年、京城監獄の運営が開始、この頃すでに朝鮮半島の主要都市を含めた16ヶ所で刑務所が運営
- されていた 1910年、日本が朝鮮半島を強制的に併合した当時、21ヶ所の刑務所を運営。1920年頃には刑務所の数が約300カ所に拡大
- 1912年に麻浦（マポ）区、功德（コンドク）洞に大規模監獄が建設され、名前が「西大門監獄」となる
- 1923年に「西大門刑務所」という名称に変更、以降1945年8月15日まで植民地監獄として使用された
- 1919年の3・1独立運動以降、収監者の増加により刑務所を当初の300倍に拡大

## 西大門刑務所歴史館② 独立運動の展開と光復後の民主化運動



- 1919年3月1日独立運動展開  
→ 大韓民国臨時政府誕生  
一方で独立宣言を發表した33人を日本警察は一斉逮捕し、西大門刑務所に収監
- 朝鮮各地での独立運動に参加した多くの人が西大門刑務所に連行され、一時収監者数は3000人を超えた  
多くの独立運動家が獄死
- 朝鮮半島内外で秘密結社結成・独立軍活躍
- 光復後、独裁政権下では反独裁運動に参加した多くの運動家が収監されたり死刑とされた
- 1987年に民主化が達成されるまで多くの民主化運動家たちが収監された

## 西大門刑務所歴史館③ 独立運動家を記憶する



- 独立運動家たちを記憶する場所 写真
- 左側は女性の独立運動家であった柳寛順（ユ・グァンスン）梨花学堂に在籍していた1919年、16歳の時3・1独立運動に参加その後故郷の天安（チョンアン）で独立運動を開始。この際警察に捉えられ西大門刑務所内に収監される1920年に刑務所内で死亡日本の植民地支配下で捉えられた独立運動家たちの写真が壁一面に飾られている柳寛順をはじめとして女性の独立運動家の姿も目立った（柳寛順など女性の収監者は西大門刑務所内の女性獄舎に収監）

## 西大門刑務所歴史館 地下展示室



- 日本の植民地支配下における朝鮮人独立運動家に対する取調・拷問の様子を見ることができる
- 一つ一つの部屋は取調室や臨時拷問室、独房などとして使用されていた
- 残酷で耐え難い拷問をされることで悪名高い場所であり、収監者の間では「地下拷問室」と呼ばれていた
- 右側の写真は日本人がヤカンを持っているがハンさんによると唐辛子の入った水で拷問をしていたという
- 地下は陽が差さず、薄暗くて寒い

# 全体像



- ・ 保安課庁舎（展示館）
- ・ 監視塔
- ・ 中央舎
- ・ 第10～12獄舎
- ・ 第9獄舎（思想犯）
- ・ 工作舎
- ・ ハンセン病舎

- ・ 追悼碑
- ・ 運動場
- ・ 死刑場
- ・ 遺体の搬出トンネル
- ・ 女性獄舎
- ・ 倉庫
- ・ 炊事場



## 中央舎・獄舎



- 看守は中央舎から一度に全ての監房を見渡せる構造
- 監房は約10m<sup>2</sup>（6.5畳） 10人程が収容された



- 光が遮断された独房「モツパン（墨房）」（右）

# 獄舎



- 獄舎に冷暖房はなく、床板の腐食を防ぐための通気口からは外気が吹き込む（左）
- 窓は高い位置に、鉄格子がはめられている（右）



- 看守を呼ぶための「ペトン」(左)
- 壁を叩いて収監者同士、密かに連絡を取り合った様子 of マネキン (右)

# 獄舎内 民主化運動の展示



- 民主化運動の活動家たちの所縁の品や足型



- 監房内のインスタレーション

# 工作舎・ハンセン病舎・追悼碑



## 工作舎

- 収監者たちが強制労働に従事
- 1930年代からは日本軍の軍需品を製作



## ハンセン病舎

- ハンセン病を患った収監者は隔離された



## 追悼碑

- 西大門刑務所で処刑、獄死した独立運動家たちの名前が刻まれている

# 運動場



- 獄舎同様のパノプティコン構造（扇型）
- わずかな運動時間も収監者同士のコミュニケーションを阻止していた（右は看守からの視点）

# 死刑場・遺体の搬出トンネル



※写真撮影禁止のため歴史館ウェブサイトより

## <死刑場>

- 1920年頃の和風木造建築（現存）
- 1階に絞首台、地下に遺体を引き取るための空間
- 周囲は5メートルほどの塀に囲まれており、刑務所内からも見えないようになっている
- 1945年に植民地解放後も、独裁政権のもと多くの民主化運動の活動家たちが処刑された



## <遺体の搬出トンネル>

- 死刑の事実が知られると社会的に問題となる場合や拷問による遺体の損傷が激しい場合、遺族のいない場合などに共同墓地への移動に使用された



## 感想

- 日本社会のメンバーとして、植民地時代の記憶や痛みをただの知識としてではなく、足を運んで、目撃して、肌で感じる事ができてよかった。
- 痛みに触れることでやっと隣人として隣に立って、学びと対話のスタートラインに立てたような気がする。

二宮陽子 松灘かずみ 弓削悦子

韓国スタディツアー報告  
ナヌムの家

訪問日時：2025/2/27 AM



# ナヌムの家 案内図

チケット売り場
  御手洗
  駐車場
  後援者リスト

- |                   |                   |        |
|-------------------|-------------------|--------|
| ① 日本軍「慰安婦」歴史館 第1館 | ④ ナヌムの家 生活館 2     | ⑦ 追悼公園 |
| ② ナヌムの家 生活館       | ⑤ ナヌムの家 事務棟       |        |
| ③ ナヌムの家 教育館       | ⑥ 日本軍「慰安婦」歴史館 第2館 |        |



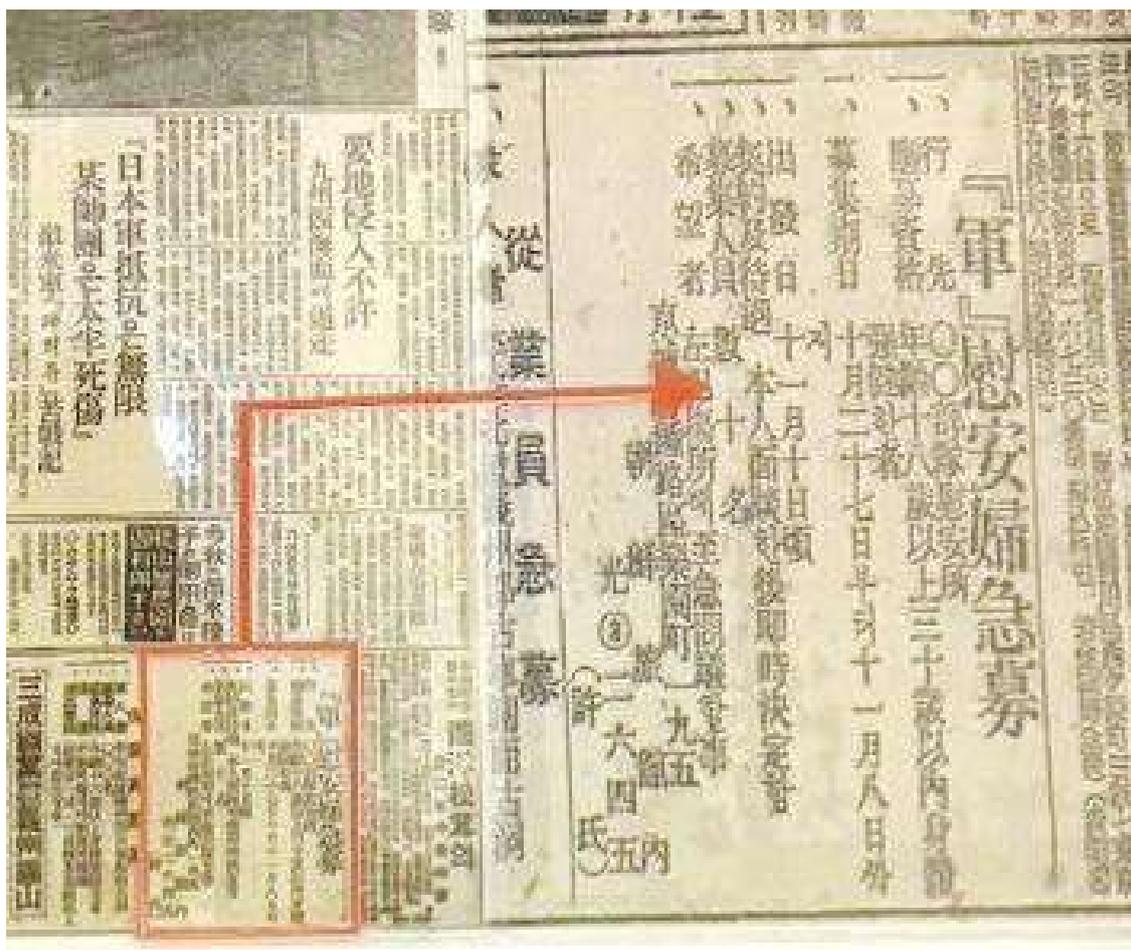
日本軍“慰安婦”歷史館 屋外広場



나눔의 집 生活館

# 『軍』慰安婦急募

## 新聞広告



行き先は〇〇部隊慰安所、応募資格は18歳以上31歳以上の身体の丈夫な者。日本軍が慰安所を設置した理由は、侵略を広げる先々での兵士による現地女性のレイプの問題がありました。これにより日本軍が現地の人々の憎悪の対象となること、また兵士たちに性病が蔓延し、兵力が落ちることを避けるため、性病に罹っていない若い女性を集めて"慰安所"を作ったのです。朝鮮半島からは13歳ほどの少女までもが騙されたり、拉致されたりして性奴隷にされました。

# 軍用手票



これは軍隊の中でしか使用できないもので、家族への仕送りはできず、敗戦後にも全く使うことができませんでした。コンドームをこの報酬によって買わされていた女性もあったそうです。コンドームの支給は「慰安所」によりまちまちで、「一日に1個支給された」というケースも報告されています。

# 健康診断記録

氏名削除												係	比上	秘長	分				
五	六	九	八	一	五	九	八	一	〇	九	七	〇	六	六	八	名	第	一	令
可	可	可	不	不	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	成	慰	安	取
可	可	可	淋	瘰												績			
氏名削除												姓	名	第	二	令			
																成	慰	安	取
																績			

一、検微成績左記通り通帳入

十一月十日イロイロ基健所慰安所

22付

慰安所では頻繁に健康診断が行なわれました。その結果を記載した表です。「成績」という欄に、可、不、と記載があります。「陰性・陽性」「健康・疾病」等ではなく「可・不可」と記すのは、女性を人間としてではなく、性の相手をする道具として見ていた証しです。

## 営業時間および料金表

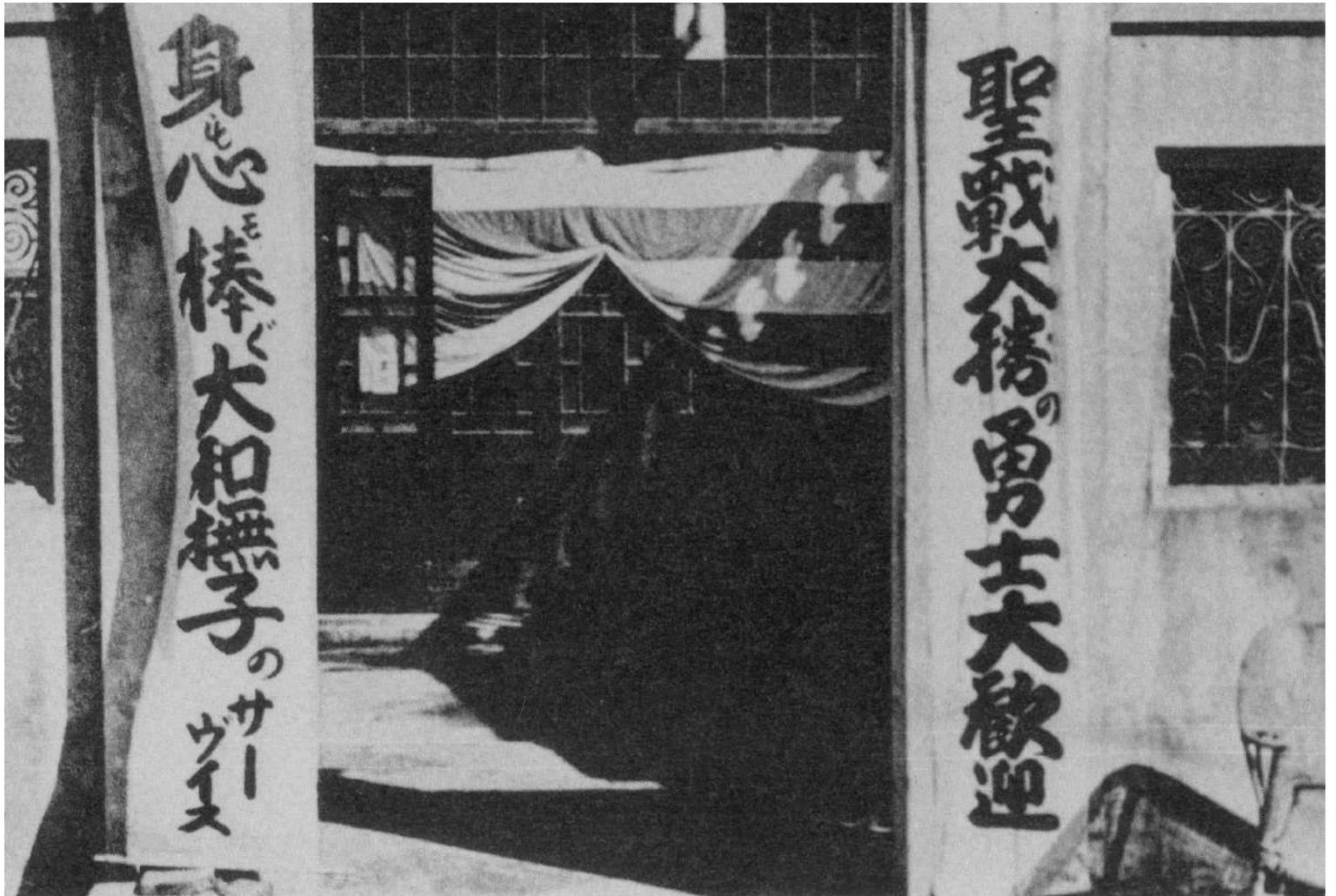
区分	営業時間	遊興時間	料金（単位は不明）	
			第一慰安所	亜細亜会館
兵	9:00～16:00	30分	100	150
下士官・軍属	16:00～19:00	30分	150	250
見習士官・将校	19:00～24:00	1時間	300	600

兵が9時から、下士官が16時から、将校は19時から24時まで利用できるとあります。毎日、何十人もの相手をさせられていたという証言もあります。



## 南京の兵站指定”慰安所”「故郷」の入口

「慰安所」の運営が「兵站」の一環であったということがこの写真からも分かります。



聖戦大勝の勇士大歓迎 身も心も捧ぐ大和撫子のサービス これは民間に運営を委託していた“慰安所”の入口。



慰安所規定

慰安所規定「比島軍政監部ビサヤ支部イロイロ出張所管理地区内における慰安所実施に関する事項を規定す」と書かれています。軍が組織的に「慰安所」運営していたことが分かります。「慰安所を利用し得べきものは制服着用の軍人軍属に限る」「サック使用せざる者の遊興拒止」「毎日入浴の実施」「日光消毒」等、衛生に関する注意書きが多い。「慰安婦外出を最重取締」と書かれており、女性たちが監禁状態で性被害を受けていたことが分かります。

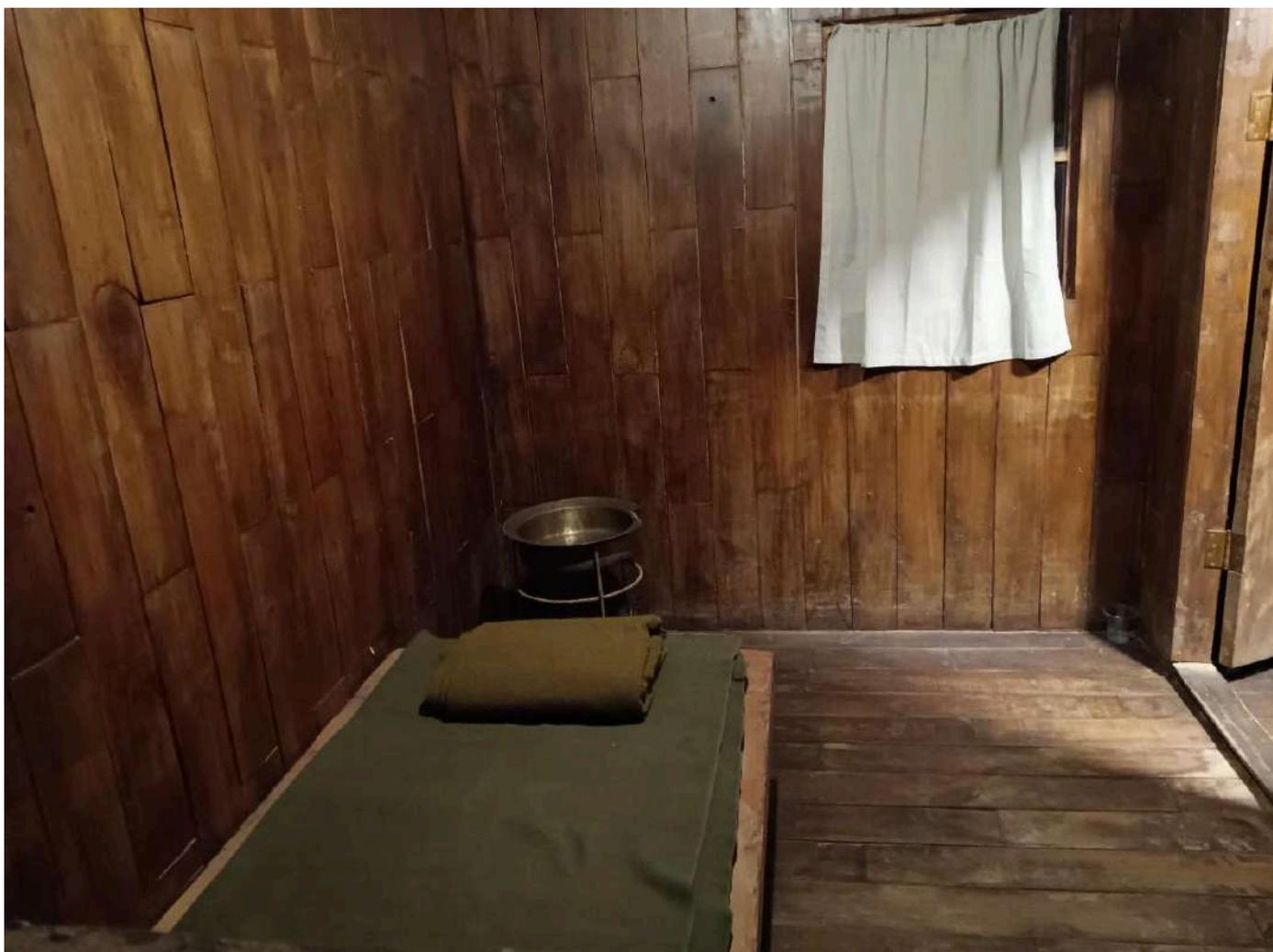


日本人女性の 名前をつ  
けられています。

「大和撫子の  
サービス」などと  
入口に掲げた  
「慰安所」もありま  
した。

女性たちの人格  
を無視し、性の道  
具として、人形の  
ように、物のよう  
に扱っていた表  
われです。

## 日本名の名札



## “慰安所”内部の再現

この小部屋には実際に入ってみることができます。狭い室内にベッドと洗面器があり、小さな窓が一つあるだけ。ここで朝から深夜まで性暴力を受け続けていた。このように室内で相手をさせられるのは良いほうで、行軍にともなわれた女性たちは、野営のテントや屋外での性暴力被害を受けていました。



遺品展示室



遺品展示室



〈連れて行かれる〉



〈連れて行かれる〉



〈奪われた純情〉



〈焼かれる少女たち〉







李容女ハルモニ、  
金順徳ハルモニの墓碑  
林玉相作《大地の女》



## 〈ドアのない家〉

占領期間中、多くの女性が性奴隷として連れ去られ、自宅に戻ることができなかった。この被害者の状況は、ドアのない家



## 〈あの日〉

日本統治時代に日本軍の性奴隷にされ、日本国旗をかぶせられて弱々しく連れ去られた朝鮮人女性を描いている。



平和の少女像

# 세계 각지 수요시위 연대

International Solidarity of the Weekly Wednesday Demonstration  
世界各地の水曜デモ連帯



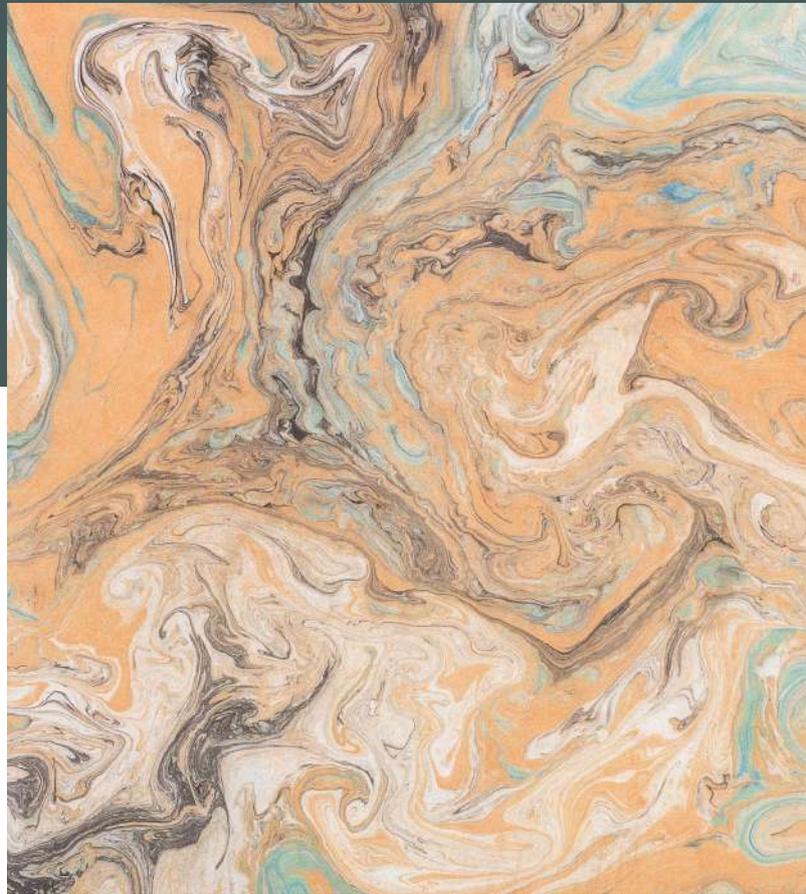
世界各地の水曜デモ

花ひらく年ごろ日本軍に連れ去られ  
踏みにじられ失われてしまった人生  
とりもどすのに五十年の歳月を要した  
今はしわだらけのハルモニになってしまったが  
彼女たちの勇気ある証言その証言の力で  
私たちは真実を知った  
いつも暗い影に覆われた彼女たちの世界に  
今こそまばゆい光を注ごう  
取り戻せない歳月翁草になったとしても  
艶やかな衣を軽やかにまとい翼を広げる  
ここで再び心底望んだ人生を生きる  
宙をさまよう悲しい魂も  
もういまは  
天に向かって解き放とう

高恵貞(コ・ヘジョン)

# 戦争と女性の人権 博物館

日本軍性奴隷問題解決のための  
正義記憶連帯(正義連)



松灘かずみ 大塚優子

## 日本軍性奴隷問題解決のための 正義記憶連帯（正義連）職員、 ユジンさんのお話

- (1)日本軍性奴隷問題とは？
- (2)日本軍「慰安所」で行われた  
こと
- (3)「解放」後の女性たち
- (3)問題解決のために—正義連の  
活動



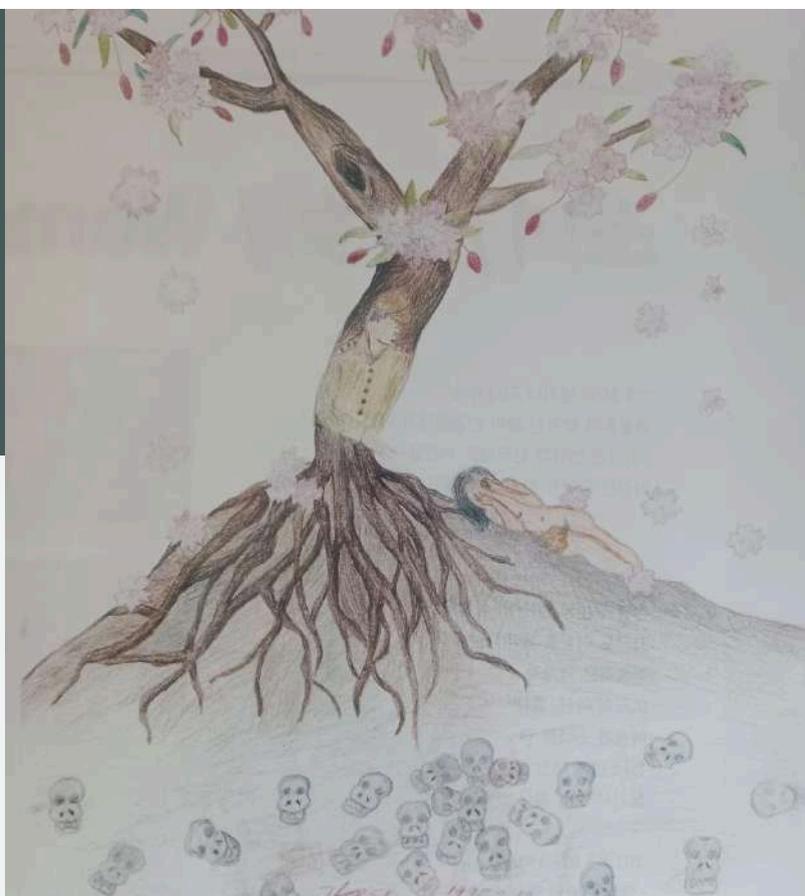
# 日本軍性奴隷 問題とは？

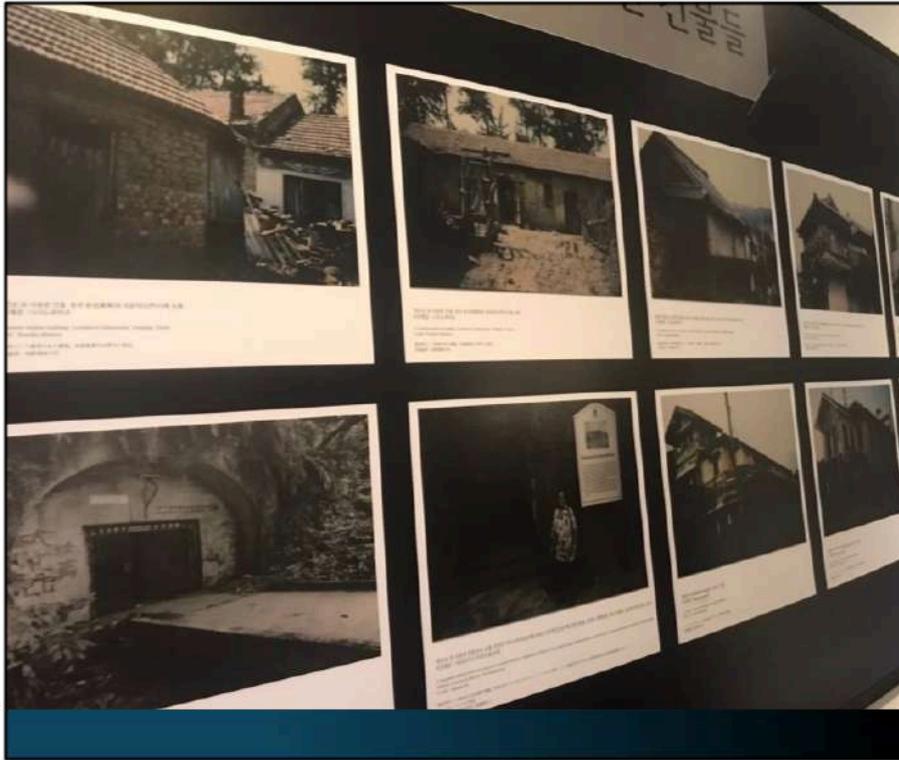
- ◎組織的に行われた戦時性暴力
- ◎日本軍性奴隷についての用語
  - ・勤労挺身隊
  - ・従軍慰安婦
  - ・日本軍性奴隷制



# 日本軍が行ったこと

- なぜ女性たちを連行したのか
- 日本軍による統制と制度化





## 日本軍「慰安所」 で行われたこと

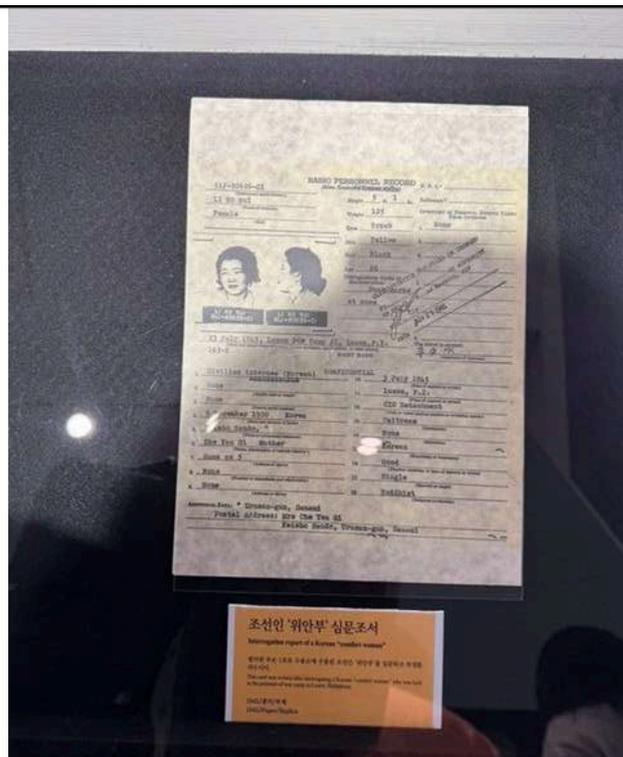
日本軍「慰安所」の設置・運営と「慰安婦」の募集は時期と場所によってさまざまな形で行われ、各「慰安所」では階級ごとに利用時間や料金、性病などの衛生管理について決まりがありました。このことから世界各地での戦時性暴力とは異なり「軍による組織的な性奴隷制度」であったことがわかります。元日本軍兵士の証言によると20～30人の兵士が順番を待ち、「慰安婦」たちは毎日数十人もの軍人・兵士を相手に性暴力を受け続けました。

# 人間としての 尊厳を奪われる 女性たち

엄격한 이동 규정에 따르고 있었다는 것은 이미 완전한 관이대 통제를 통해 '위안소' 경영에 관여했음을 보여준다

종류	면적(㎡)	개수	1인당	총합
위안소 건물	1,000	100	1.00	100
위안소 건물	1,000	100	1.00	100
위안소 건물	1,000	100	1.00	100

「위안소」이세이회관, 제 1 위안소(소) 규장 승부의 견, 동시에 나타난 「위안소」 사용시간과 요금



「慰安婦」にされた女性たちは月経や妊娠、病気の時でさえ拒否することは許されず、残酷な性暴力から逃れることはできませんでした。日本軍兵士たちの安全のためという名目で定期的に性病検査を受けなければならず、「慰安所」から出ることができないよう脅迫され、生活や移動も厳しく制限されるなど、尊厳を奪われます。強制的に薬物を注射し、薬物中毒にさせて逃げたくても逃げられなくさせるということまで行われました。

## 日本軍の戦況と 日本軍「慰安所」

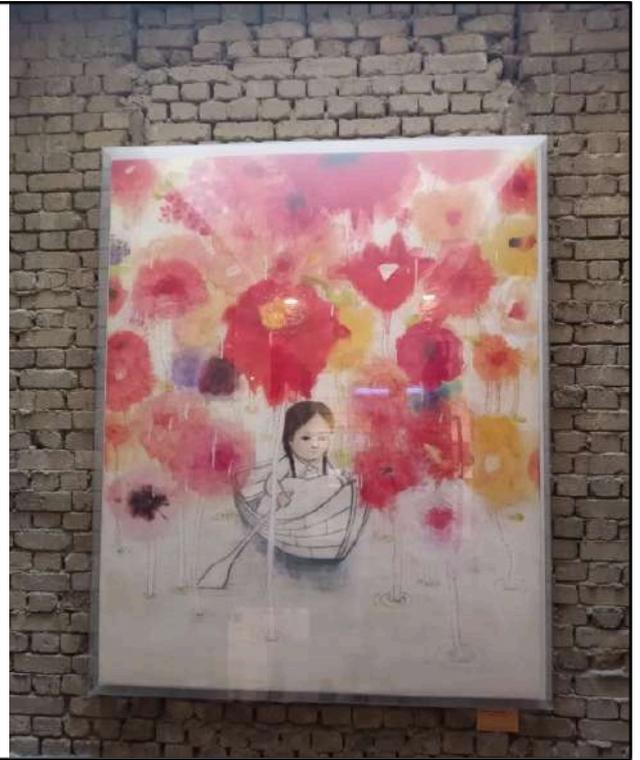
日本軍「慰安所」マップ  
アクティブ・ミュージアム 女たちの  
戦争と平和資料館(WAM)

<https://wam-peace.org>



これは、日本軍が設置した「慰安所」を綿密な調査によって地図にしたものです。日本国内やロシア、中国、そして日本が侵略、占領したアジア太平洋全域に広がっていることがわかります。「慰安婦」たちは常に軍とともに行動させられ、戦況が悪化すると現地に置き去りにされたり、戦闘に巻き込まれ亡くなったり、日本兵に虐殺されることさえありました。\*調査と地図の作成を行った「WAM」のウェブサイトから、さらに詳しく見ることができます。

## 日本の敗戦と 「解放」



日本が敗戦した1945年、辛うじて生き残った「慰安婦」たちも、簡単に帰国することはできませんでした。自力で故郷に帰るために苦心し、何年もかけてようやく帰還できた人ばかりではなく、帰ることをあきらめ、その場所で生きることを余儀なくされた人、途中で亡くなる女性も多くいました。

## 後遺症と沈黙、初めての公開証言



「解放」は1945年、初めての公開証言は46年後の1991年でした。なぜ、これほどの長い時間がかかったのでしょうか。彼女たちは「慰安所」で受けた性暴力や拷問によって傷ついた身体と、残酷な記憶のトラウマを抱えて苦しい人生を送り、偏見や社会のまなざしによって長い間沈黙させられていました。当時、性暴力の問題が法制度の中で“貞操”の問題ととらえられていたこと、戦後処理が不完全であったことも背景としてあります。1988年以降、民主化運動の流れで女性の人権に関する議論が活発化する中、沈黙が破られたのは1991年8月14日でした。キム・ハクスンさんが公開記者会見を開いて、自らがサバイバーであることを証言し、勇気づけられた多くのサバイバーたちも声を上げ始めました。



## 問題解決のために

「戦争と女性の人権博物館」  
<https://womenandwarmuseum.net>  
 「日本軍性奴隷制問題解決のための正義記憶連帯（正義連）」  
<https://womenandwar.net>

日本軍「慰安婦」問題は過去のものではなく、今も続いています。問題解決のために「正義連」はサバイバーの支援、研究と教育、記憶と追悼などに取り組んでいます。そのひとつ「水曜デモ」では、日本政府に対して7つの要求を行っています。①戦争犯罪を認める ②真相の究明 ③公式謝罪 ④法的賠償 ⑤責任者の処罰 ⑥歴史教科書への記載（教育） ⑦追悼碑と歴史館の建設 ぜひ、「戦争と女性の人権博物館」と「正義連」のウェブサイトもご覧ください。日本語で紹介や解説を読むことができます。

# 韓国スタディーツアー 報告会 (韓国YWCA)

河越英里 中島春菜

## 報告の内容

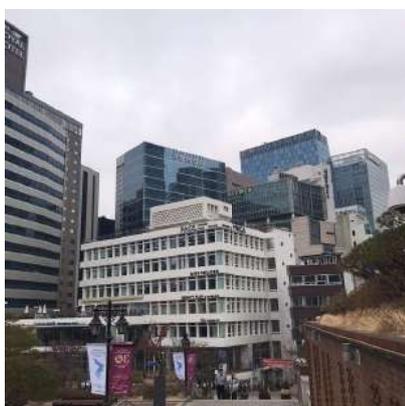
- 韓国YWCAの施設見学
- 韓国YWCAと女性活動家

# 韓国YWCAの施設見学

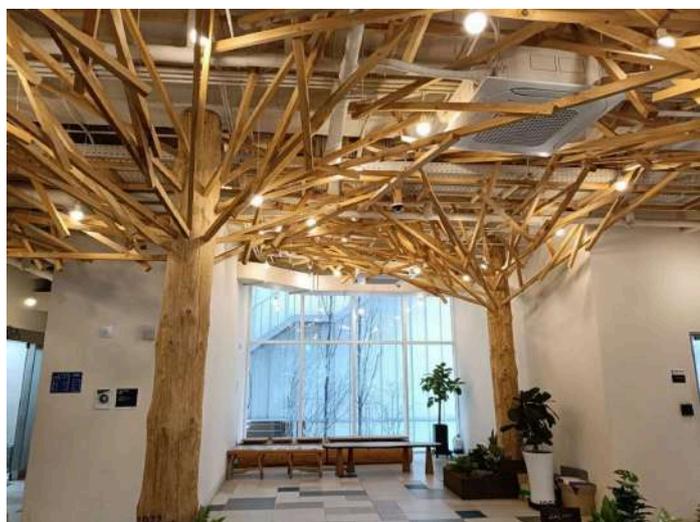
## 施設について



- 明洞大聖堂の向かいに。
- YWCA見学前に参加者で大聖堂を見学。



## 施設について



- エントランスは木をイメージしており、ほっとする空間。

## 施設について



### エントランス

- 飾ってある写真を辿ると、韓国YWCAの歴史がわかる。

## 施設について



### キッチン

- 無料でお茶やコーヒーを飲んでリラックスできる開放的な空間

## 施設について



### 活動スペース

- 静かで落ち着いた部屋
- 大きな本棚には韓国YWCAの資料が並ぶ。



## 施設について



### 会議室

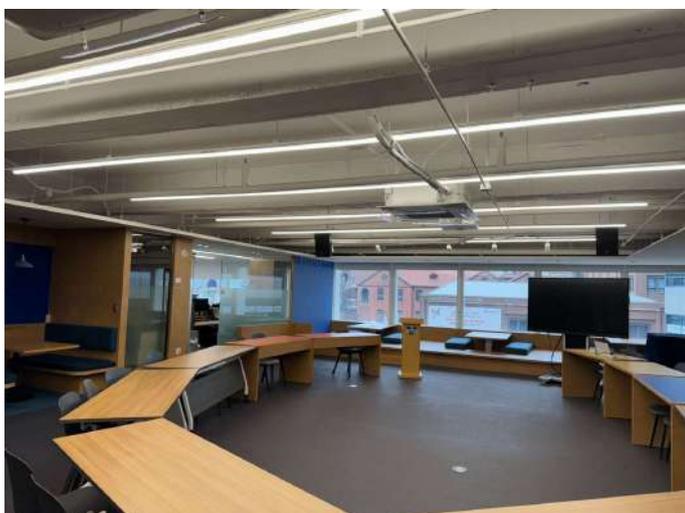
- 天井には Women speak!のデザインが。
- 奥には歴代使用されたタイプライターが並ぶ

## 施設について



### 理事室

## 施設について



オープンスペース・イベントスペース



## 施設について



- オープンスペースからは明洞大聖堂が見える



## 施設について



- オープンスペースからは明洞大聖堂が見える

## 施設について



韓国YWCAの歴史がわかるスペース

これは、歴代の理事や事務総長が載ったパネル



## 施設について



### 朝鮮半島にあるYWCA

- 北部の水色の拠点は今拠点が残っているのかわからない。

## 施設について



### 韓国YWCAの活動の歴史

- 韓国YWCAは日本統治下で日本YWCAに組み込まれる予定だったが、独立したYWCAとしてスタート。

## 施設について



- 開放後は戦争孤児、婚姻届を出す運動を行う

## 施設について



- 女性の教育、北朝鮮の子供の支援活動など

## 施設について



- 2000年代からよりグローバル規模の活動が広がる。
- 反原発、Metoo運動など

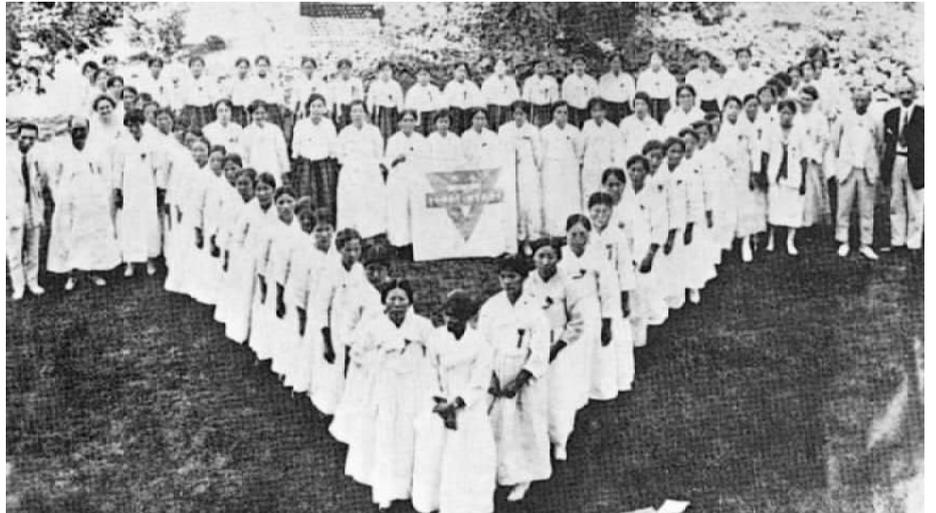
# 韓国YWCAと活動家

## 韓国YWCAと活動家



光復後の韓国YWCA  
が目指したもの

- ・農村の女性などをはじめとする女性教育を通じた女性のリーダーシップの育成
- ・孤児の支援



## 韓国YWCAと活動家1 조아라(チョ・アラ)

- 1912年、日本植民地下の光州で生まれる
- 植民地下の朝鮮において独立のための女性による秘密結社を組織
- 光復後には光州(クァンジュ)YWCAの再建に尽力
- 1947年～1983年まで光州YWCAに所属し、総務・会長を務める
- 朝鮮戦争後、戦争孤児や青少年、家出した子供などを対象としたシェルターを創設
- 1980年5月18日に起きた民主化運動の一つである光州事件が派生した際にはソウルから光州に駆けつけた



- 光州事件発生当時、光州YWCA会館が射撃対象となった
- 当局と協力して事態を収束させようと努力したが失敗
- 警察に連行、6ヶ月の実刑判決
- 事態収束のために当局に妥協しようとしたことは、韓国YWCA95周年記念式典において反省すべきこととされた



## 韓国YWCAと活動家2 박에스더(パク・エスダ)



- 1902年、ピョンナムで生まれ、1歳の時にアメリカに移民
- アメリカYWCA連合会の職員であり、1947年に韓国に韓国YWCAの顧問として派遣され、1980年まで韓国で過ごす
- 朝鮮戦争の際にはアメリカYWCAから緊急事業費の支援を受けることに成功し、費用を救護活動に充て積極的に活動
- 職業訓練、指導力養成教育、海外派遣教育に先駆け、女性も主体意識を持って社会で働けるという信念を韓国YWCAに植え付けるのに尽力  
→韓国YWCAにおける教育システムを構築
- 韓国YWCAの会員数を増やすと同時に会員活動を主導し、地方YWCAを創設するなど韓国YWCAの行政システムを構築
- 明洞にあるYWCA会館の建設にも参加



## 韓国YWCAと活動家3 이희호(イ・ヒホ)



- 1922年、日本植民地下の京畿道で生まれる
- 韓国の第1世代フェミニストであり、パートナーで第15代大統領の金大中政権時、女性部(のちの女性家族部)の設立に影響を与えた
- 1959年～1962年まで韓国YWCA連合会総務を務める
- 「婚姻申告をしましょう」(혼인신고를 합시다)キャンペーンを提案し全国のYWCAにポスターを送るなどキャンペーンを主導した。



- 当時の韓国では「めかけ」とされる女性も存在し、「めかけ」の女性は財産を得ることができなかつたり、養育権を失うことがあった
- 女性が権利を得ることができるよう積極的な婚姻申告を促すキャンペーンを行った
- 2013年、韓国YWCAより第11回韓国女性指導者大賞を受ける



---

韓国  
スタディツアー  
報告会

PEACE

MOMO

名古屋YWCA

杉浦綾子  
六車絵梨子

---

# PEACE MOMOの紹介

平和教育NPO

「みんな（モドゥ）が

—  
みんな（モドゥ）から学ぶ」

ファシリテーター

カジさん



# グラウンドルール

- 違っていても大丈夫
- ささいなことでも大丈夫
- ゆっくりで大丈夫

生徒が先生の話のノートを取るような  
講義形式ではなく (垂直的)

参加者同士お互いに耳を傾け合う  
ワークショップ (水平的)



到着後お茶と  
お菓子でホッと一  
息

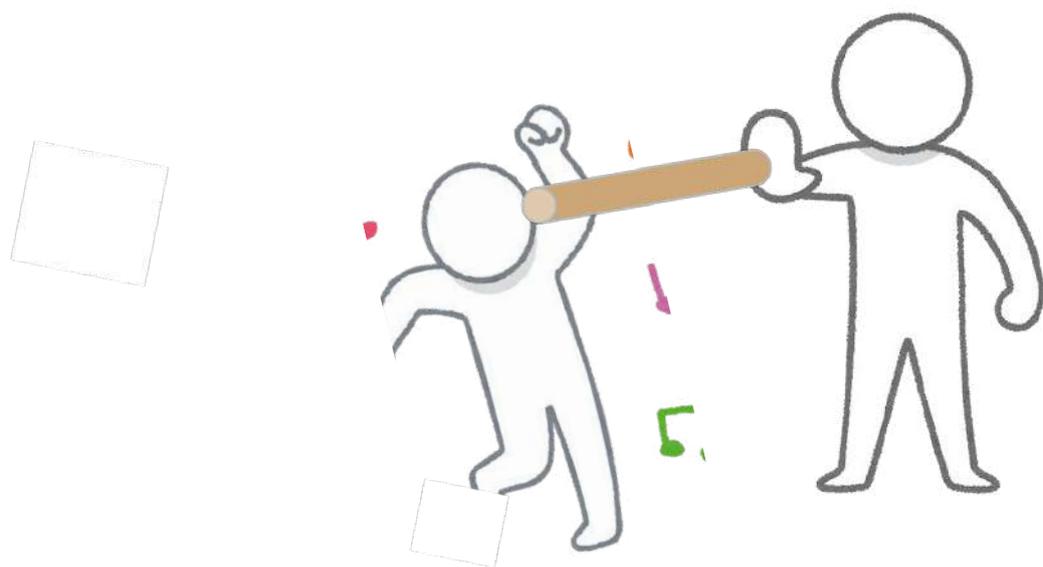


# アクティビティ 操り人形①

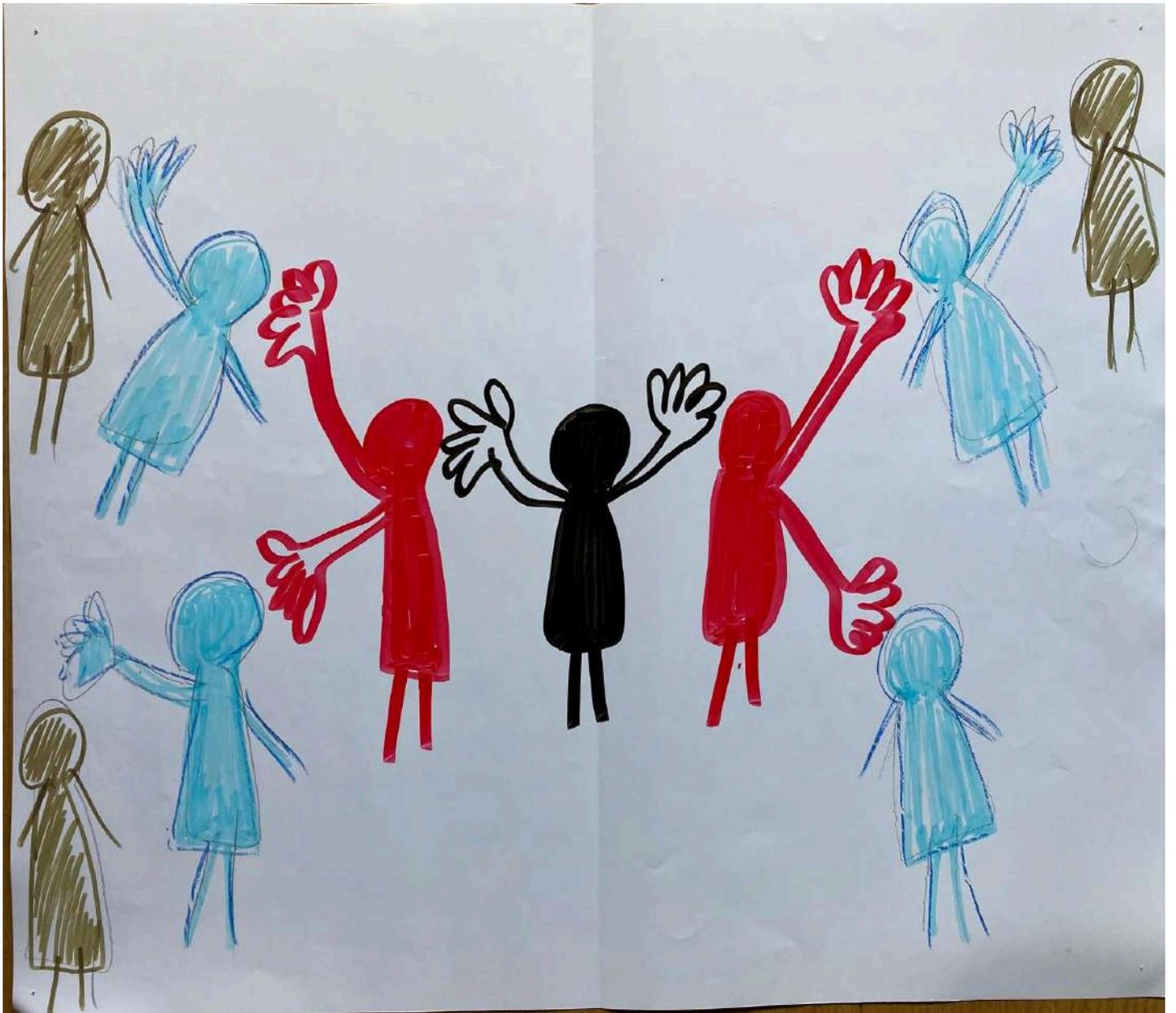
- ペアになって1人は人形使い、  
もう1人は操り人形に
- 人形使いは人形役の人のおでこに手をかざし  
人形を操る
- 人形役はおでこから鉄線がつながれている  
イメージ

人形使い・人形役それぞれの感想を共有

→ ペアによってさまざま



## アクティビティ 操り人形②

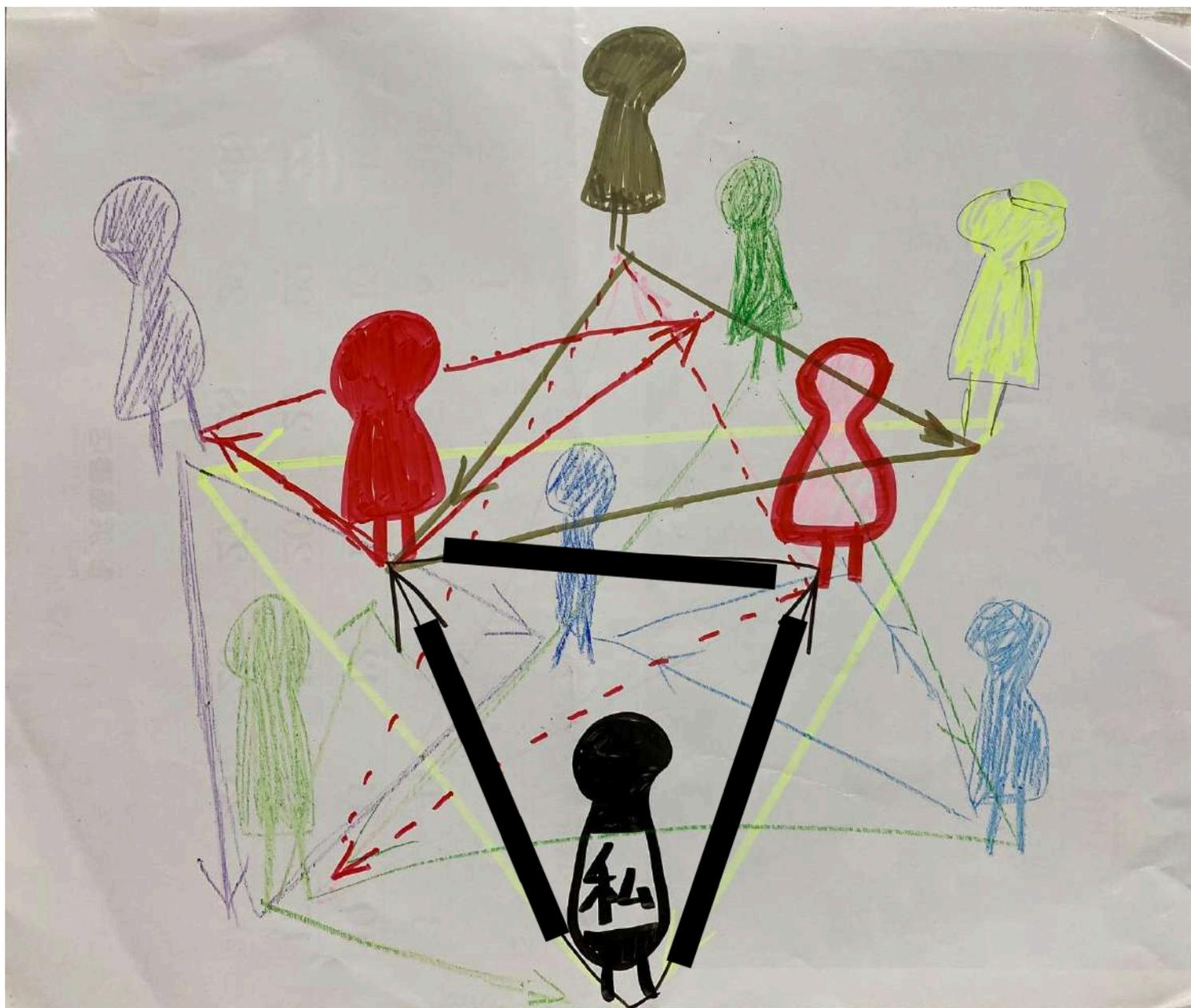


諸悪の根源は、誰？何？

アクティビティの目的

「ミスや成功の原因を、構造的に見よう」

# アクティビティ 正三角形



アクティビティの目的  
「他者は、自分とは違う方向を見て、  
自分とは違うものを大切にしている」ことに  
気づくこと

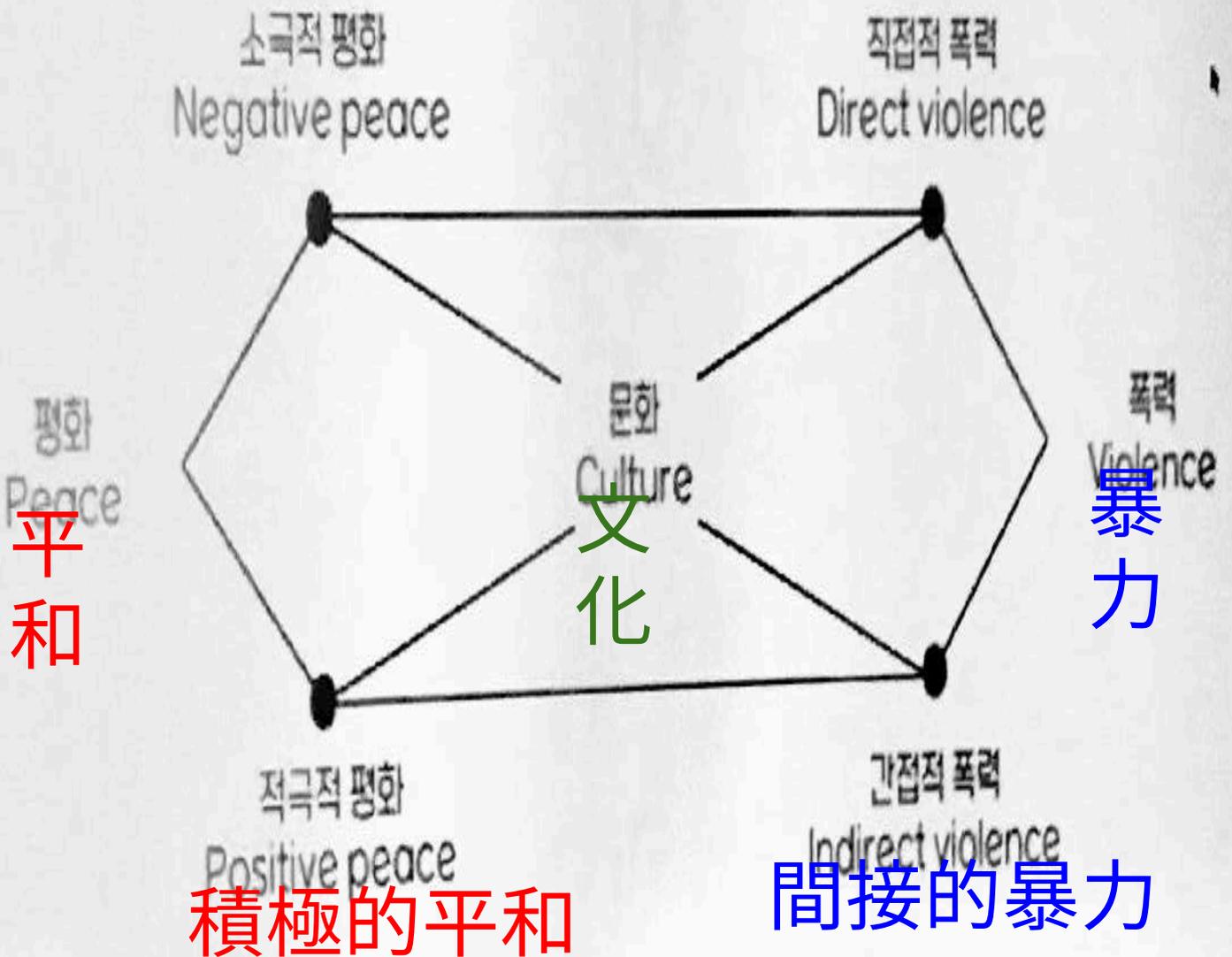
# 갈트OUNG의 평화理論

요한 갈통 Johan Galtung의 평화이론

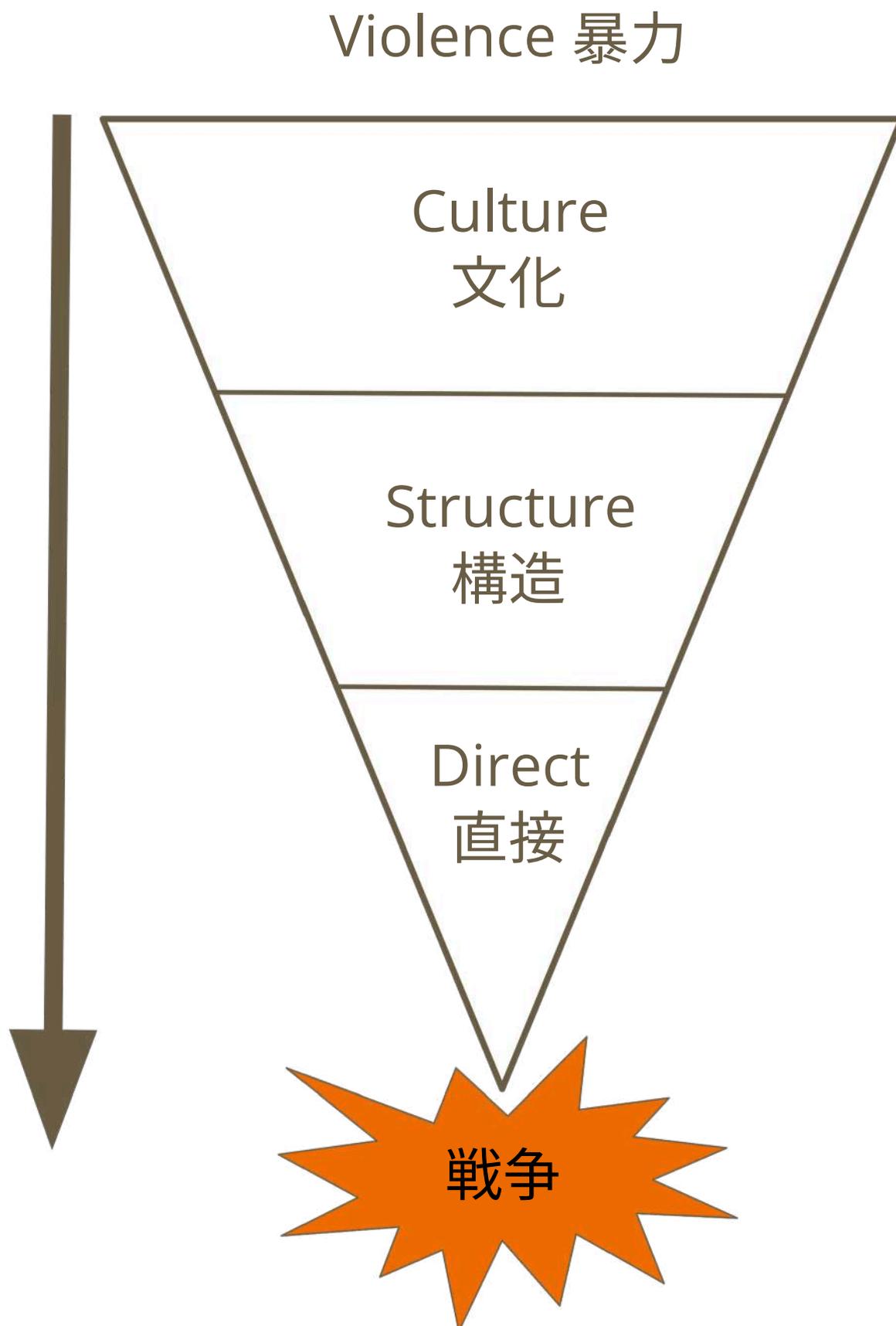


消極的平和

直接的暴力



# 暴力が激しくなる図



# 感想

## <杉浦>

### ワークショップ体験

- なるほど！気づき 発表し理解しあう
- 自分が平和に
- 東京Y、名古屋YでWSをして分かち合いたい

## <六車>

- ・日本で経験した「平和教育」への違和感
  - 互いのリスペクトをベースにした学び
- ・暴力的カルチャーに気づく感受性の重要性

東京YWCA韓国スタディツアー」

## 「平和と女性の人権」を学ぶ

主催 公益財団法人東京YWCA  
平和と正義委員会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11

03-3293-5456

[peaceevent@tokyo.ywca.or.jp](mailto:peaceevent@tokyo.ywca.or.jp)